

3年保育5歳児 まつ組

5歳児まつ組 計22名

担任 田原雅代

保育補助 乙訓弘美

1 学級の実態

(体を動かすことへの取組：◎ 遊び：○ 人との関わり：● 生活：☆ 学級で取り組む活動：□)

- ◎学級や学年のみんなでするしっぽ取りや中当て、わらべ歌（鬼ごっこ）など、友達と一緒に体を動かして遊ぶことに喜んで参加している。また、多くの幼児が、自分なりに目当てを意識して参加する楽しさを味わっている。
- ◎友達と一緒に進んで戸外に出て、固定遊具（うんてい、鉄棒、登り棒）に挑戦する幼児もいるが、室内での遊びを好む幼児もいる。
- 遊びに必要なものを作るために、いろいろな材料を選んだり、使ったりしながら、イメージしたことを実現しようとしている。また、友達の作るものに興味をもち、まねたり、自分なりに工夫したりすることを楽しんでいる。
- 気の合った友達2～5人のグループになって一緒に遊びを進めていこうとしている。しかし、自分のイメージで遊ぶことに夢中になり、友達の思いに気付かずにいる姿が見られる。
- 昨年度から関わりが多い幼児同士に加えて、興味をもった遊びに取り組む中で、関わりが広がってきた。
- 友達と思いがぶつかりトラブルになったときに、自分なりの言葉で思いを伝え、解決しようとする姿が増えてきた。まだ、相手に受け入れられないと教師に言いに来る幼児がいるが、教師が見守っていれば自分なりの言葉で伝えようとしている。また、友達の様子を気にかけて声をかけたり、互いの話を聞いたりする幼児が増えてきた。
- ☆グループの友達と声を掛け合ったり、当番表を確かめたりしながら、飼育物の世話や昼食準備、後片付けに進んで取り組んでいる。
- ☆教師の話や絵本などからうがいや手洗い、歯磨きなどの生活習慣についての大切さ、必要性を感じて、進んで取り組む幼児が増えている。また、食育教室を通して、自分の弁当の栄養バランスに関心をもったり、嫌いな物を食べようとしたりするなど、今までに比べて食に関心をもつようになってきた。
- 学級の活動に意欲的に参加する幼児が多く、自分の思いや動きを発揮したり、友達との関わりを楽しんだりする姿が見られる。

2 週のねらい

- 自分の思いを出したり、相手の思いに気付いたりしながら、一緒に遊びを進める楽しさを味わう。
- 忍者のイメージを楽しみながら、体育館やプール内で友達と一緒に体を動かしたり、自分なりの動きを楽しんだりする。
- カレーパーティーに向けて期待をもち、友達と協力してカレーを作ることを楽しんだり、他の学年に喜ばれる満足感を味わったりする。
- 自分の健康に必要なことに気づき、自分から行おうとする。

3 指導内容

- ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、イメージを共通にして遊ぶ。
- ・忍者のイメージを楽しみ、自分なりになりきって動いたり、場や動きを選んで繰り返し体を動かしたりする。
- ・友達と一緒にカレーを作ることや他学年にごちそうすることに期待をもち、カレーパーティーに参加する。
- ・気候に応じた生活習慣や健康な体に必要なことが分かる。

3年保育5歳児 たけ組

5歳児たけ組 計23名
担 任 村上佳織
保育補助 乙訓弘美

1 学級の実態

(体を動かすことへの取組：◎ 遊び：○ 人との関わり：● 生活：☆ 学級で取り組む活動：□)

◎うんてい、登り棒、鉄棒などの固定遊具に自分なりに挑戦したり、友達と一緒に縄跳びやボールを使って遊んだりするなど、戸外で体を動かすことを楽しんでいる。

◎学級や学年の友達と、中当て、しっぽ取り、わらべ歌の鬼ごっこなどをして遊ぶことに期待をもって参加している。逃げる、しっぽを取るなど、自分なりのめあてに向かって取り組むことを楽しんでいる。

○友達と一緒に、遊びに必要な物や場をつくったり、役割を決めてなりきったりしながら、ごっこ遊びをすることを楽しんでいる。年中時の経験をもとに、自分なりに試す、工夫する、友達や教師と一緒に考えるなどしながら、イメージを実現しようとする幼児が多い。

○友達と誘い合って遊び始めたり、片付けるときに続きをすることを約束したりして、気に入った遊びを何日間か続けることが多い。学級や学年の友達のしている遊びに興味をもち、自分から話しかけたり、真似たりして関わろうとする姿が見られる。

●一緒に遊ぶ2～5人くらいの友達には、自分の思いやイメージを言葉で伝えようとしている。ときどき、言葉が足りなかったり、相手の話を聞いていなかったりして、トラブルになることがある。そのときには、周りの友達が思いを受け止めたり、一緒に考えたりして解決しようとする姿が増えてきている。

●異年齢の幼児や小学生、学級の保護者や教職員など、いろいろな人と関わることを楽しんでいる。年下の幼児にやさしく関わったり、年長児らしい姿を認められたりすることが、年長組としての自覚や意欲につながっている。

☆園生活の流れや年長組での生活の約束が分かり、自分から必要なことに取り組もうとする幼児が多い。手洗い、うがいや歯磨き、衣服の調節などの生活習慣は身に付いてきている。

☆階段の通行の仕方、廊下を静かに歩くことなど、遊びの中で約束を忘れて過ごす姿も見られる。安全の意識をもてるよう、気付かせたり、投げかけたりしたことで、少しずつ気を付けようとしている。

□学級のみんなで、グループじゃんけん、ひよこのかくれんぼ、ロンドン橋などのいろいろな遊びをすることに喜んで参加している。また、当番活動や誕生会の司会、製作などの課題活動に意欲をもって取り組んでいる。

2 週のねらい

○自分の思いを出したり、相手の思いに気付いたりしながら、一緒に遊びを進める楽しさを味わう。

○忍者のイメージを楽しみながら、体育館やプール内で友達と一緒に体を動かしたり、自分なりの動きを楽しんだりする。

○カレーパーティーに向けて期待をもち、友達と協力してカレーを作ることを楽しんだり、他の学年に喜ばれる満足感を味わったりする。

○自分の健康に必要なことに気づき、自分から行おうとする。

3 指導内容

・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、イメージを共通にして遊ぶ。

・忍者のイメージを楽しみ、自分なりになりきって動いたり、場や動きを選んで繰り返し体を動かしたりする。

・友達と一緒にカレーを作ることや他学年にごちそうすることに期待をもち、カレーパーティーに参加する。

・気候に応じた生活習慣や健康な体に必要なことが分かる。

4 展開

時間	幼児の活動	◇環境構成 ☆教師の援助
8:45	○登園する ・あいさつ ・所持品の始末 ○好きな遊びをする <室内> ・ごっこ遊び ・製作 ・描画 など <戸外> ・固定遊具 ・中当て ・キックバイク など	☆一人一人とあいさつをし、幼児の様子を把握する。 ☆自分から進んで身支度や手洗い、うがいに取り組む姿を認めていく。幼児によっては、そばで声をかけ、身支度に集中できるようにする。 ☆幼児がイメージを実現できるように、幼児の思いを聞きながら一緒に考えたり、必要に応じて作り方を知らせたりする。 ☆自分なりに試し、工夫するなどの姿を認めたり、励ましたりする。 ☆一人一人の思いを受け止め、イメージが実現できた喜びに共感する。 ☆一緒に遊ぶ友達と思いを伝え合い、イメージが共通になるように、必要に応じて声をかけたり、確認したりする。 ☆遊びの場を作る姿を見守りながら、遊びの場が重ならないように、言葉をかけたり、つぶやいたりする。 ☆教師も遊びに加わり、幼児の動きを引き出したり、繰り返し取り組む楽しさを味わったりできるようにする。 ◇幼児の遊びの刺激になるような絵本や素材、場づくりに使う仕切りや段ボールなどを用意しておく。
10:20	○片付ける ・手洗い、うがい ・トイレに行く	◇色水遊びでは用具置き場を表示で示し、幼児が進んで片付けに取り組めるようにする。 ☆自分たちで使った物や場を最後まできれいに片付ける姿を認める。 ☆使った場を友達と一緒にきれいにする気持ちよさに共感する。
10:45	○誕生日のプレゼントを作る ・誕生日の自己紹介を聞く ・誕生日に聞きたいことを尋ねたり、話を聞いたりする ・誕生日に向けて絵を描く	◇誕生日に注目したり、誕生日を迎えた喜びを感じたりできるように、誕生日が乗る台や手づくりマイクを用意する。 ◇お祝いの気持ちをもってプレゼントの絵を描けるようにするために、誕生日がインタビューに答えた内容をホワイトボードに示す。 ☆誕生日を迎える喜びに共感したり、自信をもって自己紹介する姿を認めたりする。
11:15	○昼食準備	
11:30	○昼食	☆昼食の当番に友達と声をかけ合って取り組む姿や自分から進んで取り組む姿を認める。
12:00	・食休みをする	☆食事中マナーを守って食事をする幼児の姿を認める。 ☆教師も幼児との会話に加わりながら、友達と楽しく食べられるような雰囲気を作る。 ☆自分から歯磨きに取り組む姿を認めたり、丁寧に磨くことができるように声をかけたりする。
12:50	○体育館に移動する ○友達や教師と体を動かして遊ぶ (忍者の修行ごっこ)	☆たくさん体を動かして遊んだ心地よさに共感しながら、落ち着いて保育室に戻れるようにする。
13:30	○保育室に戻る ・手洗い、うがい ・お茶を飲む	☆汗をかいいたり、衣服が濡れていたりする様子に気付かせ、自分から水分補給や汗を拭くこと、衣服の調節、着替えなどを行う姿を認める。 ☆手洗い、うがい、タオルをたたむなど丁寧に行っている姿を、周りの幼児に気付くようにつぶやく。
13:50	○園服を着る ○集まる ・歌 ・絵本	☆身支度が終わった幼児が楽しく待てるように、また、早く集まろうと思えるように手遊びをしたり、歌を歌ったりする。 ☆1日を振り返ったり、明日の活動やお休み調べの当番を知らせたりして、期待をもって翌日登園できるようにする。
14:10	○降園準備	
14:20	○降園する	

《ねらい》

- ・ 自分なりの動きや目当てをもって体を動かすことを楽しむ。
- ・ 体を動かすことを繰り返し楽しみながら、多様な動きを経験することを楽しむ。

《環境図》

幼児に経験させたい動き

☆繰り返し取り組む楽しさにつながる環境

「クモの巣くぐりの修行」

くぐる またぐ 這う 跳び越す 走る

☆ゴムに鈴を付け、音が鳴らないように通ることで、ゴムに体が触れたかどうか気付けるようにする。

「屋根歩きの修行」

よじ登る 歩く お尻で進む

☆跳び箱は高低差（3～7段）を付けて設置する。

「川渡りの修行」

歩く（前・横・後ろ向き） お尻で進む

☆平均台に高低差を付けてバランス感覚を味わえるようにする。

☆横歩きの動きにつながるよう、平均台の横にパネルを置いて、幅の狭いコースを作る。

「ゲーテョキパー跳びの修行」

跳び乗る 跳ぶ 走る

☆台と台の間をジャンプしたり、上から吊したタンバリンを高く跳んで叩いたりする。

「山登りの修行」

よじ登る 転がる くぐる 這う 引っ張る

☆マットをよじ登り、転がる→トンネルをくぐる（這う）→床に座った状態で綱をたぐり寄せ、腕の力で進む動きで、全身の力を使えるようにする。

「手裏剣の修行」

投げる

☆的（フープ）は高低差を付けて数カ所用意する。
☆的は2、3個通すことができるように設定する。
☆幼児が作った手裏剣を使用する。

《教師の援助・配慮事項》

- ・ 幼児の取り組む姿を励ましたり、できた喜びに共感したりして、次への意欲をもって繰り返し取り組めるようにする。
- ・ 自分なりの工夫を認めたり、友達の様子に気付かせて刺激となるようにしたりする。
- ・ 幼児の様子に応じて、用具の高さ、距離などを変えていきながら、自分でやりたい場を選べるようにすることで、無理なく取り組めるようにしたり、自分なりに繰り返し試したりできるようにする。
- ・ 安全に配慮し、平均台や跳び箱の周囲にはマットを敷く。
- ・ それぞれの場での動きの中で幼児に意識させたいことを、事前に確認したり、活動後に振り返ったりする。

5 評価

- ・ 自分なりの動きや目当てをもって体を動かすことを楽しんでいたか。
- ・ 体を動かすことを繰り返し楽しみながら、いろいろ動きを経験していたか。